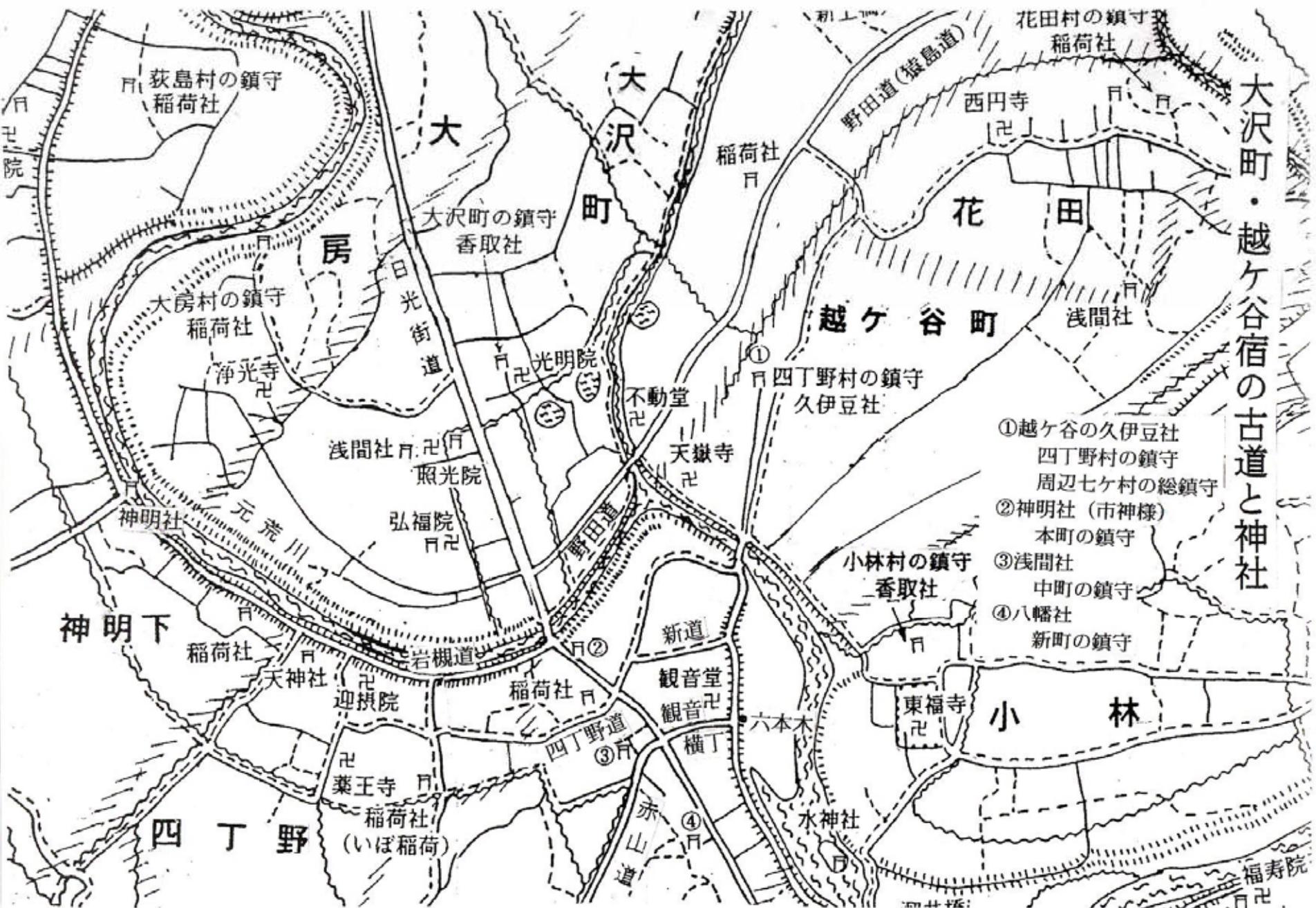


越谷の古道

NPO法人越谷市郷土研究会
加藤幸一

大沢町・越ヶ谷宿の古道と神社



- ①越ヶ谷の久伊豆社
四丁野村の鎮守
周辺七ヶ村の総鎮守
- ②神明社 (市神様)
本町の鎮守
- ③浅間社
中町の鎮守
- ④八幡社
新町の鎮守

大沢町・越ヶ谷宿の古道と神社



越ヶ谷の古道 四丁野道(愛宕道)と稲荷神社



越ヶ谷の古道 赤山街道から続く観音横丁



越ヶ谷の古道 文政年間にできた新道(しんみち)
向かって左は大師堂



江戸時代以前の奥州道

元荒川の今も残る土手道

（大相模地区）



江戸時代以前の奥州道 元荒川の今も残る土手道(北越谷)



赤山街道

- 関東郡代の赤山陣屋(赤山城)に通じる街道。
- 鳩ヶ谷街道ともいう。
- 越谷市内では、
越谷小学校そばの日光街道から始まる。



赤山街道 旧日光街道の赤山道入口



越ヶ谷小学校と赤山街道



東武鉄道 旧踏切りと赤山街道



草加バイパス(向かって右)と赤山街道の交差点



旧赤山街道(向かって左)と新赤山街道の分岐点



旧赤山街道の「一の橋」

岩槻街道

- 蒲生の日光街道(茶屋通り)が出発点。
- 旧出羽堀に沿って進む。
- 新川(古綾瀬川)沿いの槍先通りを進む。
- 草加バイパスを越えても新川に沿って進む。
今の県道蒲生岩槻線にあたる。
- 新川(古綾瀬川)の次は五才川に沿って進む。

天保十一年の大間野村絵地図





昔の岩槻道の名残が今も見られる農道(内山家そば)

今はなき不動道

- 不動道は大相模の不動尊(大聖寺)に行く道。
- 市内には主な不動道が4つあった。

瓦曽根の日光街道から始まる道

蒲生の三軒茶屋の日光街道から始まる道

蒲生の日光街道(茶屋通り)から始まる道

増林の古利根川のばば渡しから始まる道



不動道「瓦曾根にある道しるべ」 元の設置場所

不動道

「瓦曾根にある道しるべ」



不動道

「瓦曾根にある道しるべ」





撮影：秦野秀明氏

日光街道の三軒茶屋

二等水準点より

かつての

不動道入口

(建物のシャッター)

を臨む



「茶屋通りから不動尊へ」 不動道の入口



「茶屋通りから不動尊へ」 不動尊の道しるべ



「茶屋通りから不動尊へ」 不動尊の道しるべ



「茶屋通りから不動尊へ」 光明院と不動道



「茶屋通りから不動尊」 報土院と不動道



「茶屋通りから不動尊」 茶稻荷と不動道



「茶屋通りから不動尊へ」 不動道(向かって右)



不動道 葛西用水に架かる旧・流橋(ながればし)



「流れ橋から不動尊へ」 不動尊の道しるべ



「流橋から不動尊へ」 閻魔堂橋



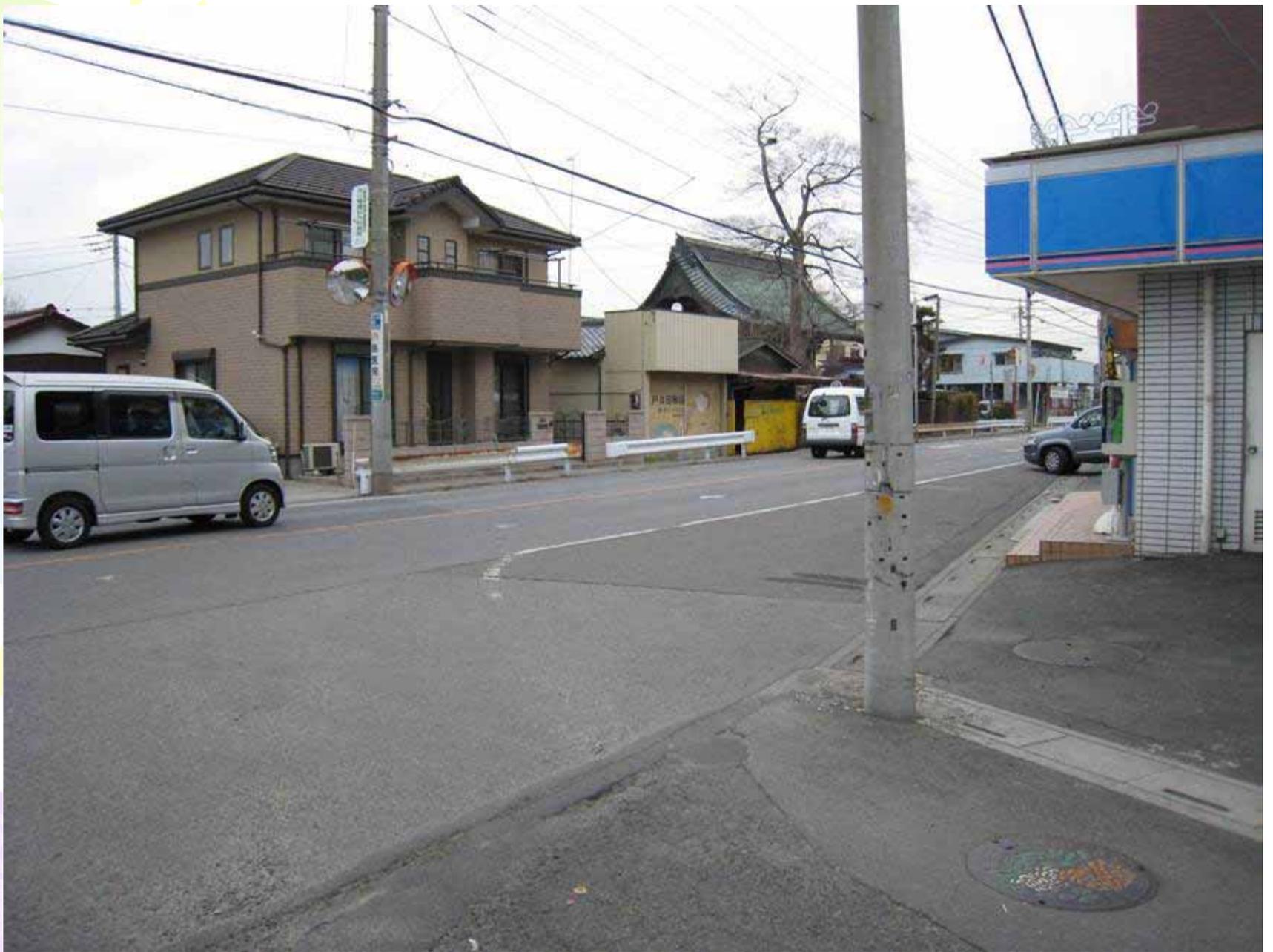
「流橋から不動尊へ」 不動尊の道しるべ



「流橋から不動尊へ」 不動尊の道しるべ



「流橋から不動尊へ」 不動道



「流橋から不動尊へ」 不動道(手前)と不動尊の総門



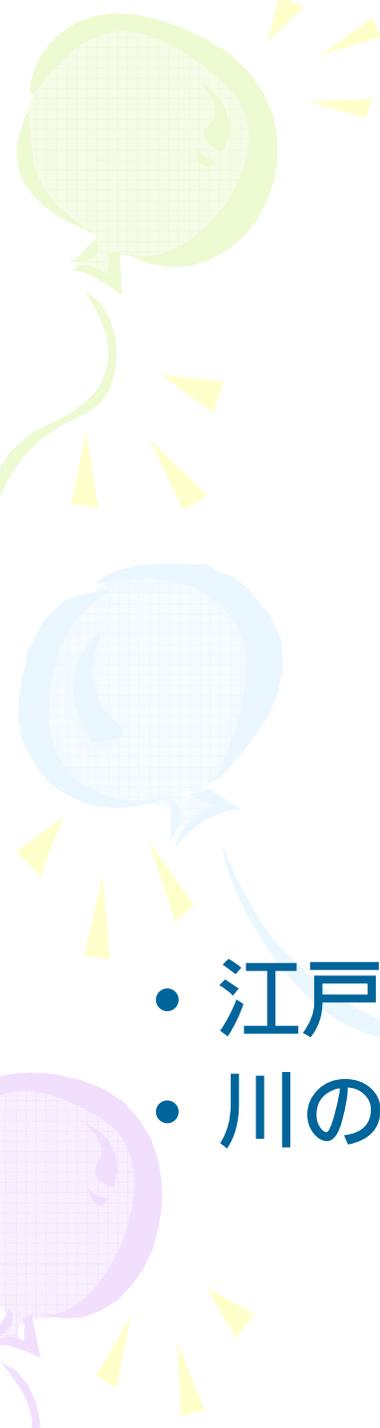
「流橋から不動尊」 不動尊の総門



「ばば渡し」の手前の越谷斎場(裏側)；県道(平方東京線)から古利根川に向けて入ってきた道、前方には越谷斎場、さらにその先には越谷斎場の入り口と古利根川の「ばば渡し」がある。



「**ばば渡し**」は、向かって右の松の木の左側にあった。古利根川の対岸は松伏町。

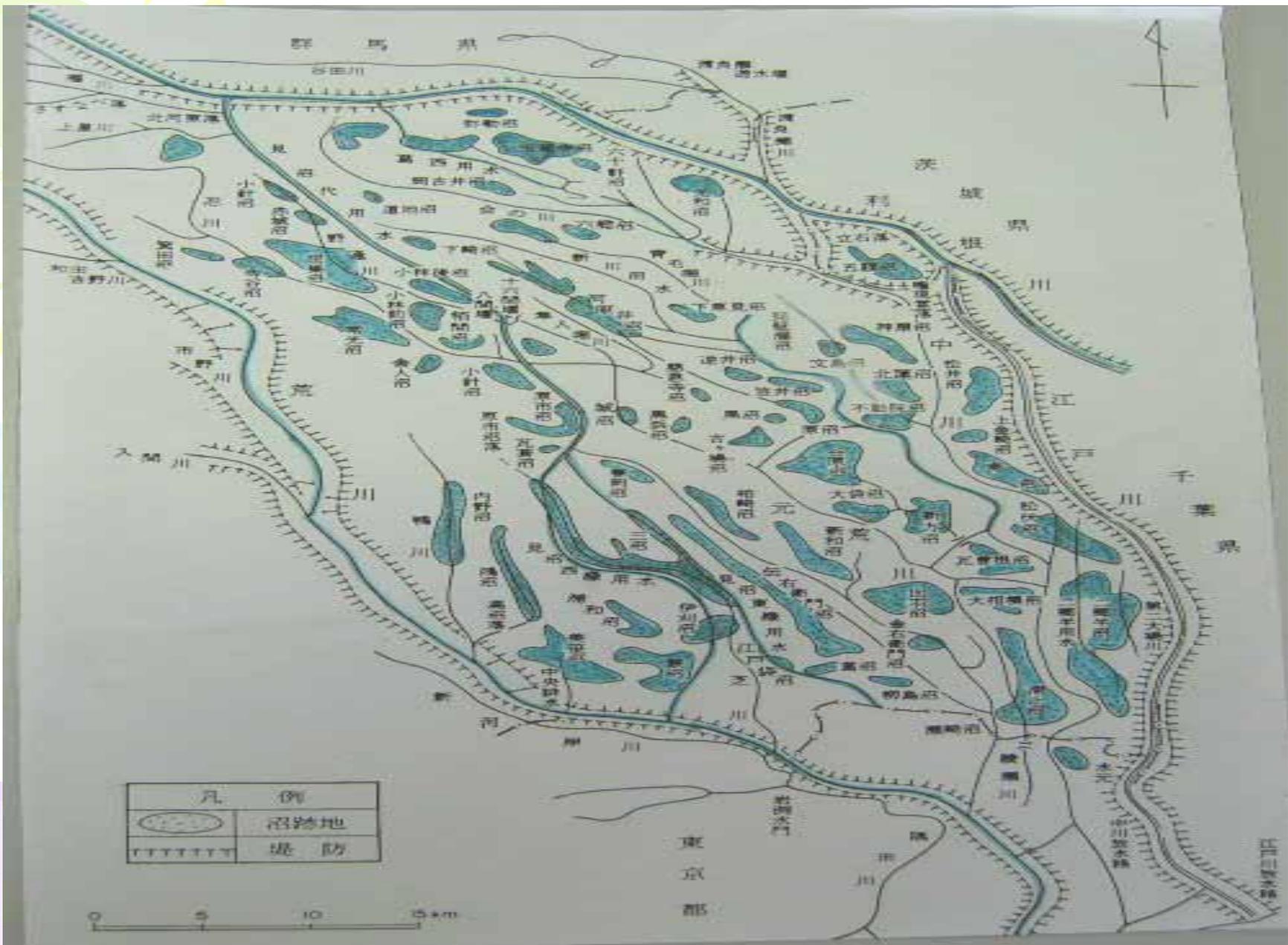


江戸時代以前の 越谷を通る 奥州道

- 江戸時代の福井猷貞の「越ヶ谷瓜の蔓」
- 川の自然堤防上を通る

「越ヶ谷瓜の蔓」の奥州道

- 千住秋屋(関屋)の里
- 大原(だいばら)通り
- 八条堤通り(中川沿いの土手道)
- 南百(なんど)角より西方(にしかた)土手道
- 中町横町(観音横丁)より元荒川渡る
- 押立堤(元荒川沿い北越谷グランドそば土手道)
- 大里古往還(自然堤防)、間久里(日光街道)
- 粕壁橋(新町橋)手前より百間(もんま)通り



いきがい大学伊奈学園 20期ふるさと伝承科第3班
 河川・歴史分野研究班 作成資料より転載



千住の宿場町通り(日光街道)



日光街道(向かって左)と下妻街道(始まり)

向かって右奥は千住宿の名倉医院



千住宿の
日光街道と下妻街道の
分岐点の道標

足立区内の
下妻街道と五反野駅





足立区内の四谷交差点と
下妻街道(向かって斜め右)



足立区内の下妻街道
突き当たりは、三郷線と綾瀬川

作成にあたって下記の地図を使用しました。

街の達人コンパクトでっか字「東京23区便利情報地図」(昭文社)



※地図中の奥州道は、正確な道路ではありません。自動車利用の時のルートです。
作成にあたって下記の地図を使用しました。
街の達人コンパクトでっか字「東京23区便利情報地図」(昭文社)



三郷線・綾瀬川沿いの下妻街道



綾瀬川にかかる内匠橋(向かって右奥)



内匠橋を対岸の神明町方面に臨む



内匠橋から綾瀬川(上流)を臨む



内匠橋東詰めと、綾瀬川沿いの大原(だいばら)道



八潮市内の大原道と葛西用水に架かる境(さかい)橋



▶ 八潮市内の県道平方東京線と八条橋(向かって右奥)



八条領の土手道跡(八条橋西詰北側)



昔の古道の風情を残す東町(あずまちょう)くぬぎ通り



作成にあたって下記の地図を使いました。
 例の達人コンパクトでっか字「東京23区便利情報地図」(昭文社)



※地図中の奥州道は、正確な道路ではありません。自動車利用の時のルートです。
 作成にあたって下記の地図を使いました。
 例の達人コンパクトでっか字「東京23区便利情報地図」(昭文社)



東町くぬぎ通りと吉越橋(向かって右)



東町くぬぎ通りと吉川橋(向かって右奥)



東町の吉川県道と古道入口(向かって右)



東埼玉道路そばの土手道(古道)



作成にあたって下記の地図を使用しました。
 街の達人コンパクトでっか字「埼玉便利情報地図」(昭文社)。

No. 5



作成にあたって下記の地図を使用しました。

街の達人コンパクトでっか字「東京23区便利情報地図」(昭文社)

昭文社



久伊豆通り(前方)との観音横丁入口(向かって左)

43越ヶ谷
・谷

道標付き文字庚申塔

箕輪家〔越谷中町八一二〇〕

〔側面〕

道のし ほろまゆらふ

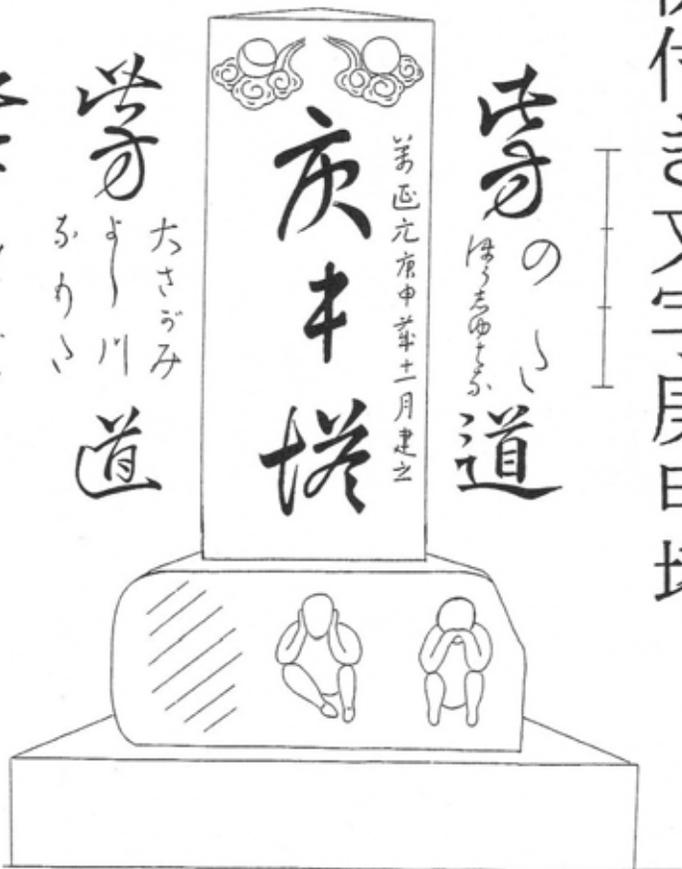


〔側面〕

学たさごみ ふりい 道

〔裏面〕

学まよごうや かわらち 道







北越谷第5公園グラウンドそば土手道(古道・押立堤)



北越谷第5公園グラウンドそばの土手道(古道・押立堤)



北越谷第5公園グラウンド(大江り):元荒川対岸の南荻島より写す

1985年7月1日 撮影者 秦野秀明氏



旧上間久里村の古道

江戸時代以前の古奥州道は、堂前の手前から日光街道より右に分かれ、下堂（しもんどう）そばを通る。それから念仏橋方面に進んだと思われる。現在の念仏橋通りにあたる。



※これは、平成6年現在の地図である。
その後、変わっている。



日光街道ができる前からあった古道(手前が日光街道、奥が国道4号線)



念仏橋(新方川・せんげん堀に架かる)

旧・会野川跡（大泊村と平方村の村境）と石橋





江戸時代は、前方の道はなく、ここで右折した。左折すると安国寺の参道となる。

旧・会野川跡（大泊村と平方村の村境）と石橋





ピンクの建物から前方に石橋が架かり、会野川を渡って対岸に通じていた。

おおえだ ひらかた あ の ぼり
大枝と平方を結ぶ会之堀橋周辺





向かって右の道路が古道

3^{平方}

石橋供養塔

関根家「平方一七六一」路傍

浅草観世音

願主

信譽意寛

南無阿弥陀仏

石橋建立供養塔

四十八月祭

村々講中
江戸

おおえだ ひらかた あ の ほり
大枝と平方を結ぶ会之堀橋周辺





手前の道が古道。会之堀橋(旧称・がんまん橋)を渡って日光街道に突きあたる。



備後南交差点の日光街道と左に入る高道(たかみち)



春日部市内の日光街道の新町橋(旧称・粕壁橋)



古隅田川(古代の隅田川)



古隅田川に架かる梅田橋



作成にあたって下記の地図を使用しました。
 街の達人コンパクトでっか字「埼玉便利情報地図」(昭文社)